

広島県の現状

環境づくり

しっかりとした環境を創る

1

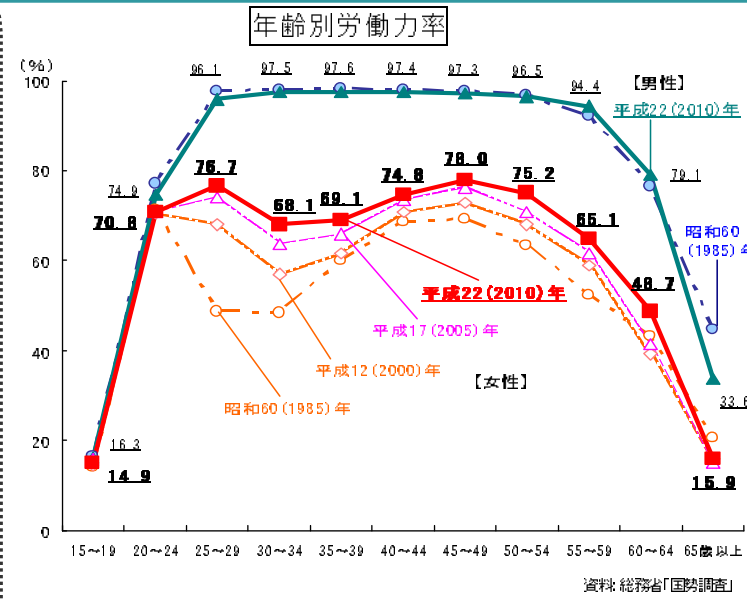
働く場における男女共同参画の推進

2

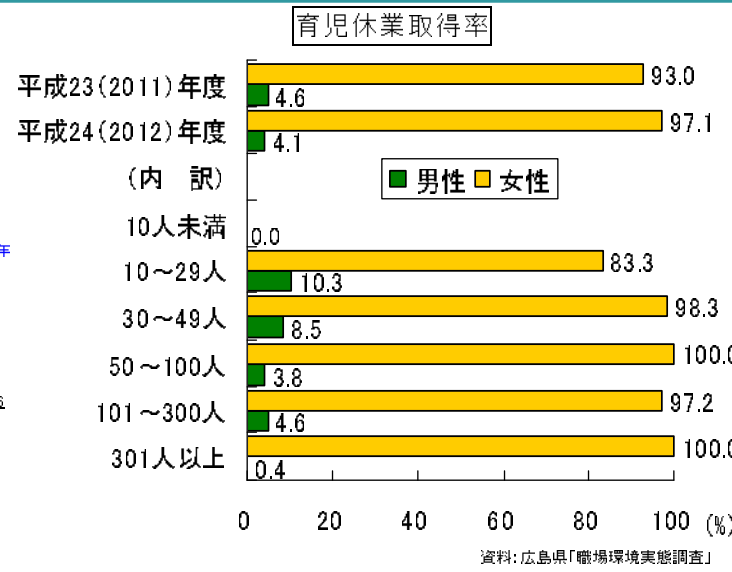
地域社会活動における男女共同参画の推進

3

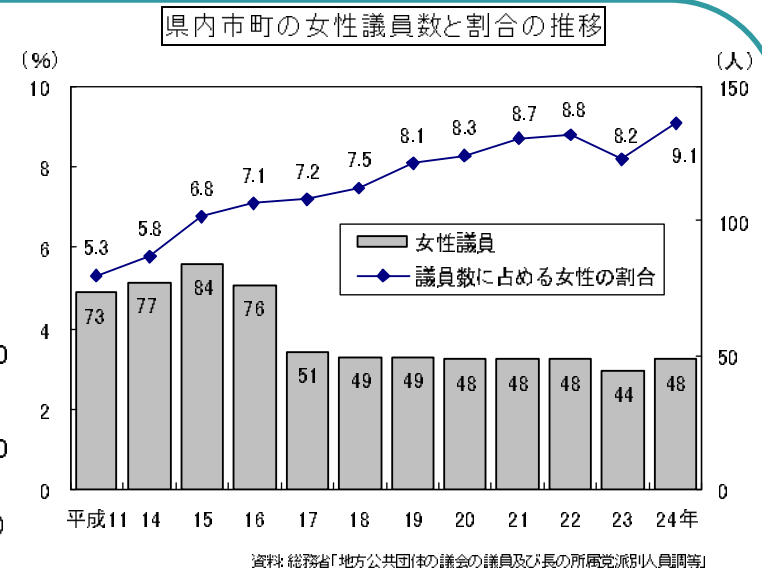
男女共同参画の推進に向けた体制の整備



女性の労働力率は、30歳代を谷とするM字カーブを描いています。



育児休業取得率は、女性従業員97.1%、男性従業員41%となっています。



平成24年12月31日現在の県内市町の女性議員数は48人、全議員に占める割合は9.1%となっています。

人づくり

実践する人を創る

1

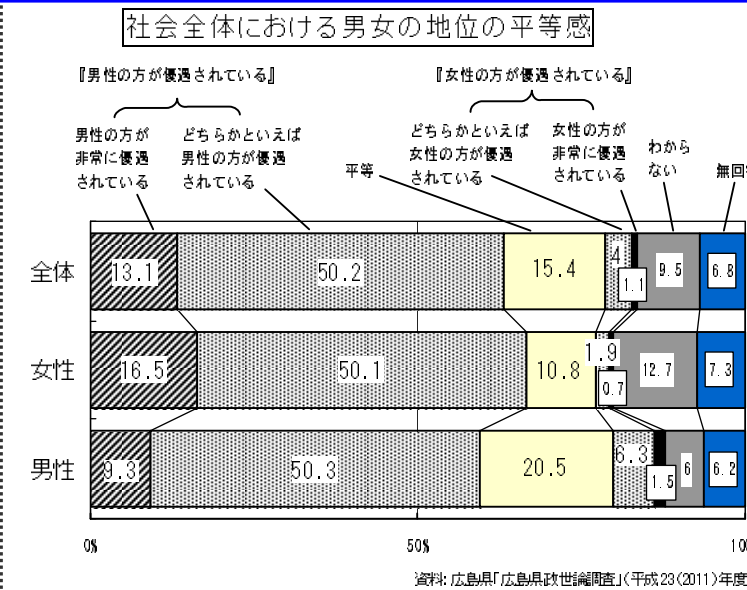
男女共同参画の推進に向けた広報・啓発の充実

2

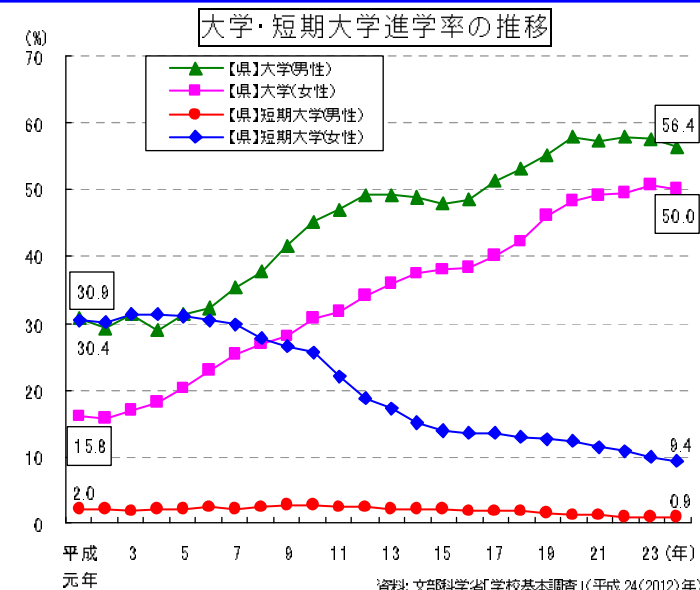
男女共同参画を推進する教育と学習機会の充実

3

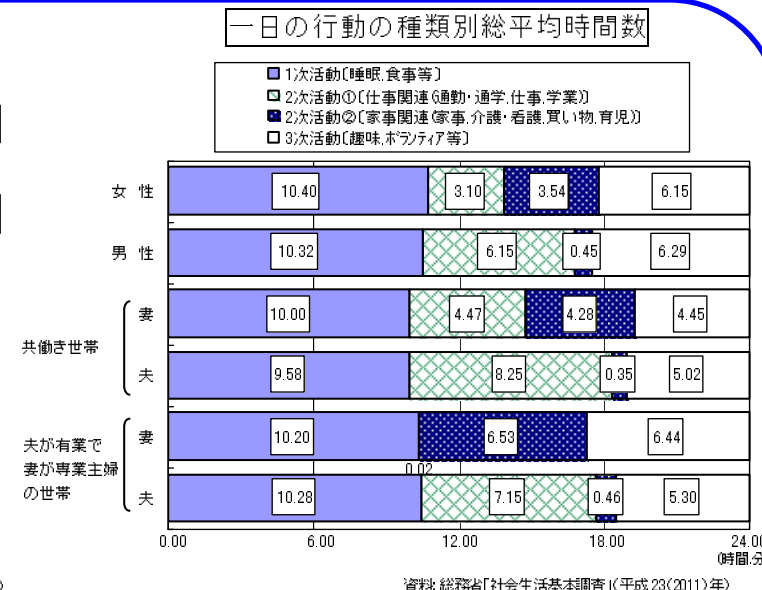
家庭における男女共同参画の推進



平等であると回答した割合は、女性108%、男性205%となっています。



高等学校卒業後の大学への進学率は、男女間の差が狭まりつつあります。



2次活動の時間の使い方は男女間に大きな違いが現れています。

安心づくり

私たちが安心して暮らすことができる社会を創る

1

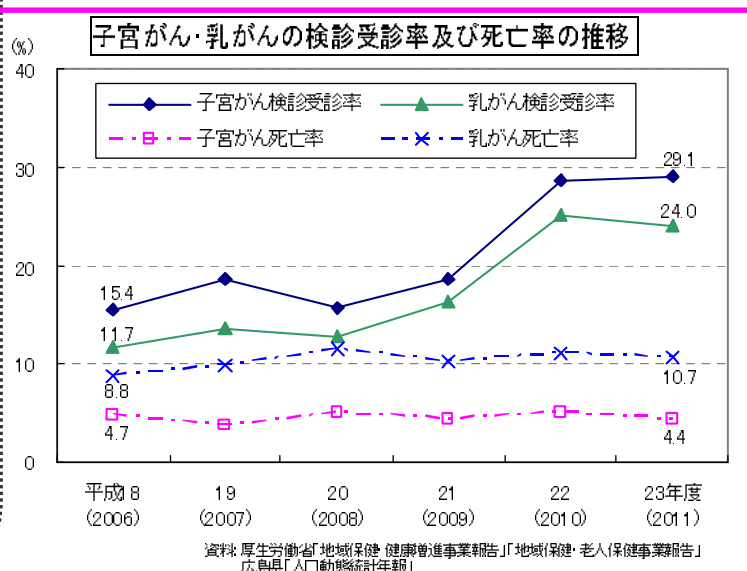
生涯を通じた健康と自立の支援

2

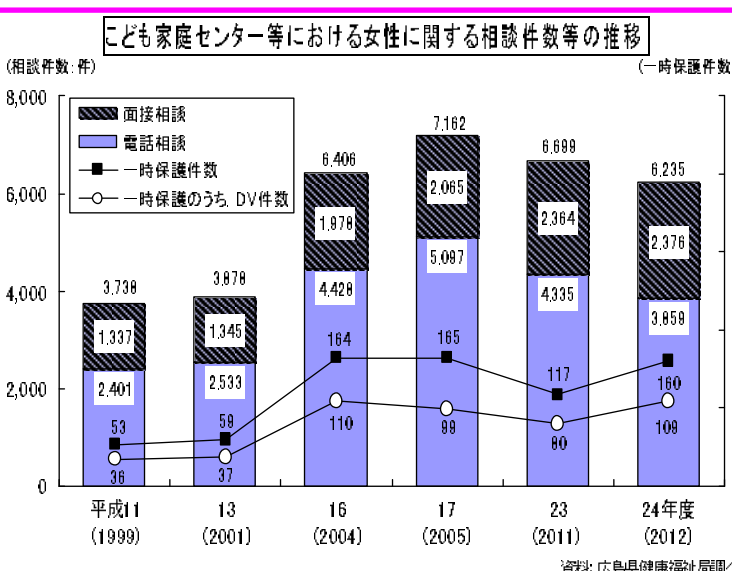
女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた取組の推進

3

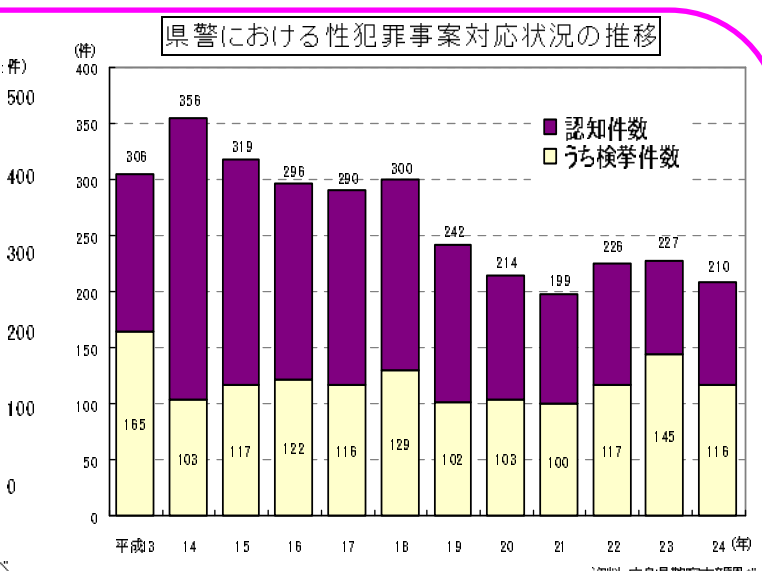
男女共同参画の視点に立った国際活動の推進



検診受診率は、子宮がん29.1%、乳がん24%となっています。死亡率は、子宮がん、乳がんともに顕著の傾向にあります。



平成24年度の相談件数等は6,235件となっています。また、一次暴行件数は187件で、うちDVに関するものは133件となっています。



性犯罪の認知件数は平成24(2012)年で210件となっています。そのうち検挙件数は116件となっており、全体の55%となっています。